

原子レベル元素分布・構造解析用透過電子顕微鏡 SpectraUltra S/TEM

主なスペック: 加速電圧30~300 kV、4srad以上のEDS検出器立体角

機種: Thermo Fisher Scientific社製 SpectraUltra S/TEM

担当: 電子顕微鏡ユニット 埋橋淳



装置HP

装置概要・アピールポイント

- 4.45 sradのEDS立体角(分析用二軸傾斜ホルダーでは4.04 sradの立体角)を有するUltra-X検出器を搭載。
- 加速電圧の切り替え能力により5分以内でレンズと試料ステージを安定状態に設定可能。
- 1セッションのなかで電子線ダメージに弱い材料も含む、多種多様な材料系やデバイスを、観察目的に応じた最適な加速電圧でのS/TEM観察が可能。



図1: 電子顕微鏡外観

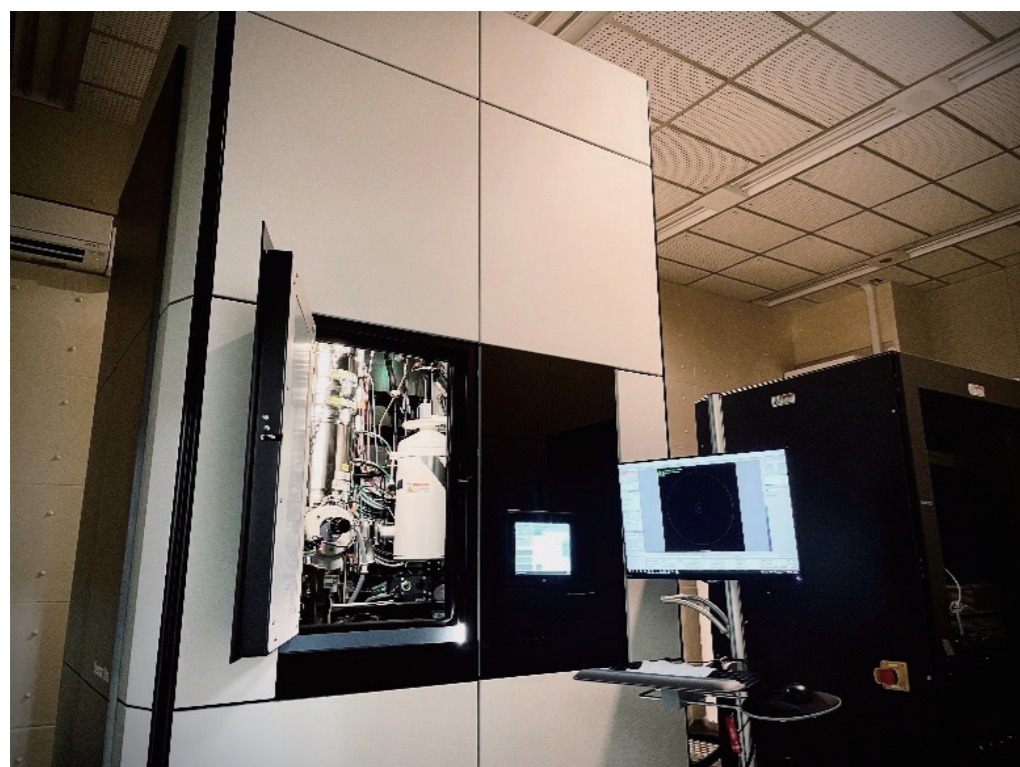


図2: 試料ホルダー脱挿入ドアを開けた様子

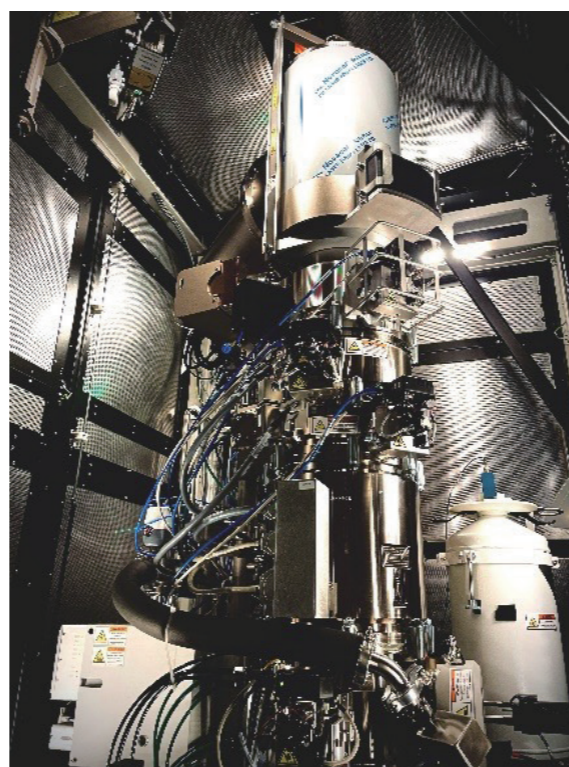


図3: エンクロージャー内部

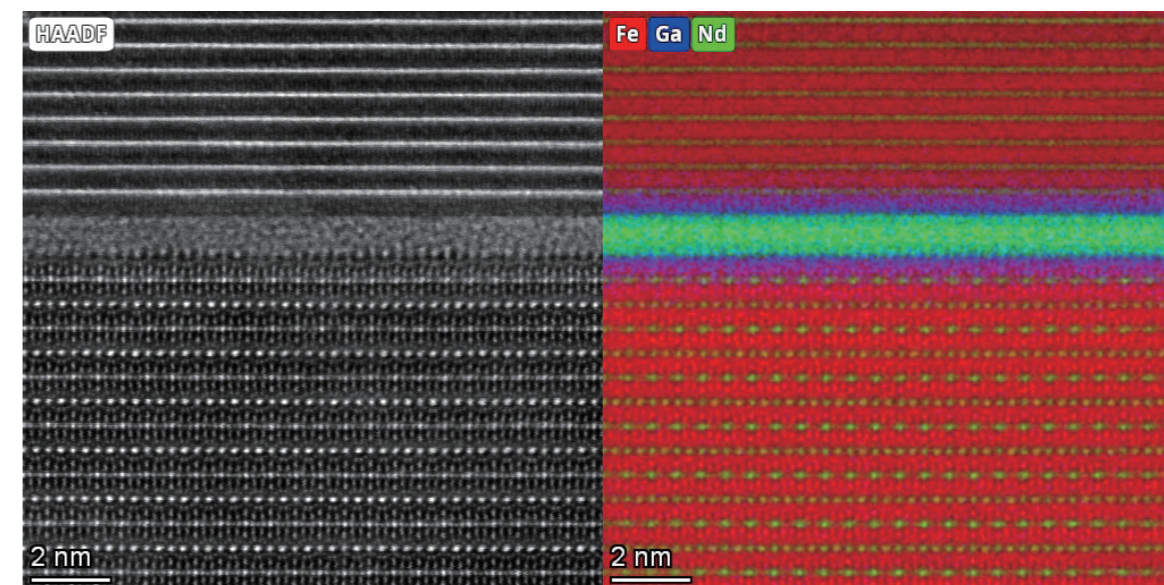


図4: ネオジム磁石粒界のHAADF-STEM像とEDS元素マップ